

FORMULA DRIFT Championship
2019 スポーティングレギュレーション



FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

前書き

Formula Drift は世界的に認知されているプロの為のプロによるドリフト競技会です。北米で初めて開催されたドリフト選手権として Formula Drift はこのモータースポーツ競技のレベルを極限まで高めてきました。ドリフトは熱狂的な車好きから、男女、年齢問わず幅広いファン層を魅了してきました。また、世界的にもドリフトと言う競技のベンチマークを築いて来ました。コース内で高い技術力を用いて猛スピード且つ横向きに駆り戦う選手達に垣根は無く車種も様々であり、コースも豊富です。全ては優勝の栄光を我が手にするために選手達はその技術を競い合うものです。

出場ドライバー、チーム監督、チーム員、その他のチーム関係者は全てにおいてスポーツマンシップを重んじ、いかなる場合・場面においても紳士的な対応をしなければならない。
万が一、スポーツマンシップに反する行為、行動、対応、言動等があった場合はその人物が関係する出場ドライバーに対してポイントの減算や没収、出場停止等のペナルティーを科す場合があります。
本スポーティングレギュレーションは参加ドライバーの他、チーム監督、チーム員、その他全てのチーム関係者が内容を確認・同意したものとみなします。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

目次 項目	ページ
1. シリーズ陣営	4
1.1 管理統制	4
1.2 公式会議	4
1.3 規制管理	4
1.4 経営権限	4
1.5 規則の解釈及び適用	4
2. ライセンス	5
2.1 Formula Drift 会員と参加者ライセンス	5
2.2 Formula Drift 競技ライセンス	5
2.3 Formula Drift PRO2 競技ライセンス	6
3. 行動準則・規範	7
3.1 選手／チーム	7
3.2 行動規範	7
3.3 懲戒処分	7
3.4 エントリー	9
3.5 アルコール、麻薬、ドーピング剤もしくは娯楽剤の服用	10
4. 一般規制	10
4.1 オフィシャル職員	10
4.2 シリーズ ID	11
4.3 登録	12
4.4 チーム代表者	12
4.5 スポッター	12
4.6 会議出席	12
4.7 ピット、パドック、コース	12
4.8 規制、スペックの改訂	13
4.9 旗信号	13
4.10 無線通信	14
4.11 同乗者	14
4.12 エントリー車両	14
5. 抗議	14
5.1 非公式の問い合わせ	14
5.2 抗議抗告	14
5.3 抗議の受け入れ	15
6. 競技方式	15
6.1 概要	15
6.2 予選	16
6.3 追走脱落戦	17
6.4 接触事故	20
別表 A - Formula Drift ライセンス公認シリーズ	23
別表 B - Formula Drift PRO および Formula Drift PRO2 の概況報告書	24

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

1 シリーズ陣営

1.1 管理統制

Formula Drift PRO 選手権は FORMULA DRIFT Holdings LLC (Formula Drift) の所有財産であり Formula Drift のイベント及び Formula Drift PRO 選手権、Formula Drift プロアマ(PRO-AM) シリーズ、含め Formula Drift にて管理・運営されるイベントを認可する。シリーズの経営管理は FORMULA DRIFT Holdings によって管理されている。

1.2 公式会議

Formula Drift の各代表者は当ルールブックへの改訂、もしくは Formula Drift の活動、運営に対する公式の会議、または聴聞会への出席を希望する。

1.3 規制管理

全ての人間、組織、団体、地域の関係団体、もしくは主催者が承認を求めた場合、及び Formula Drift への参加もしくは運営の許可、Formula Drift のライセンス取得、認証状は以下となる。

対象者はシリーズの規制に対して認識がある。

対象者はシリーズの規制に対して順守する事を同意する。

対象者は Formula Drift の書面により同意の無い法的手段及び調停者、採決期間の持つ権利を法規する。

1.4 経営権限

Formula Drift イベントにおいて、各ディレクター及び管理職の人間は個人の持つ役職以上の権限が存在する。対象者は Formula Drift の社長へ報告をする。

1.5 規則の解釈及び適用

Formula Drift オフィシャルが規制に対する最終的な解釈と適用を施す必要がある。該者の判断は最終であるべきであり、統合されていなければならない。モータースポーツの競技性を推進するべく、競技結果に対しての迅速な最終決断を達成すべく、且つ多数の利点の考察含め、代表者、選手含めた全ての参加者が下記に合意する必要がある。

Formula Drift オフィシャルによって下された判断及び決断について訴訟出来ない。

それらは Formula Drift に対して、もしくは Formula Drift を指示する者に対して、下された結果を逆転させるような行為、変更、損害の回復に対する訴訟の開始、維持を行わない。そのような決定の結果の場合、以下とする。

各参加者、競技選手、オフィシャルが該規定に違反して訴訟を起こす、または維持する場合は、個人もしくは団体側が Formula Drift 及び関係組織やパートナー先、仲介者や弁護士含む全ての経費を保証、負担する。競技選手、オフィシャルは起訴が取り下げられるまで Formula Drift に関する全ての特権を保留とする。

Formula Drift は補足規制含む個々のシリーズ規則の修正、追記を技術告示や競技者広報、競技、他媒体をもっていつでも施す権利を保留する。

規制内容の解釈から論争が起こった場合は、英文で作成された規制文書が使用される。最終権威は本書面および補足規制、会議、公示、やメモとする。

毎年 1 月 1 日より規則と規制は全て前年度の内容に取って代わるものとする。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

2 ライセンス発行

2.1 Formula Drift ハードカードと参加者ライセンス

全ての選手とピット、他危険性の高い区域等の作業員は 18 歳以上であり、ハードカードを保有していなければならない。16 歳から 18 歳の未成年者は未成年向けの参加者 I.D. とライセンスを別途配給する。規則に順守出来ない、しない場合は利権が剥奪される。

全ての Formula Drift ドライバーは Formula Drift PRO Championship 大会、Formula Drift PRO2 大会、Formula Drift Team 大会、Formula Drift Invitational (招待) 大会、または Formula Drift デモ走行に参加する為には Formula Drift ライセンスを所有している必要がある。

2.2 Formula Drift PRO 競技ライセンス

昨シーズンの Formula Drift PRO チャンピオンシップシリーズポイントで Top32 に残ったドライバーは次年の Formula Drift PRO ライセンスが自動的に更新される。

仮 Formula Drift PRO ライセンスを必要とする新規参戦選手含む、他選手は以下二つの選択肢がある。仮ライセンスは該当するシーズン中の限定されたイベントのみ参加可能となる。

選択肢 1: Formula Drift PRO2 チャンピオンシップ

競技者が Formula Drift PRO ライセンスの所有権を取得するためにはまず Formula Drift PRO2 大会に参戦する方法がある。PRO2 チャンピオンシップシーズンの終わりにシリーズポイント上位軍に Formula Drift PRO ライセンスが与えられる。Formula Drift PRO2 大会の審査は Formula Drift PRO チャンピオンシップシリーズ戦から選ばれたラウンドで Formula Drift 審査員によって行われる。コースレイアウトは各 Formula Drift PRO チャンピオンシップのコースと同等のものが使用される。

選択肢2: 請願申請

Formula Drift PRO 選手権に参戦するための資格があると思われる選手は Formula Drift PRO2 大会に参加せずに Formula Drift へ請願を提出する方法がある。請願書は Formula Drift の運営局へ連絡を取り入手する事が可能。審査に必要な時間を要した後に Formula Drift より申請者へ報告を行う。経験不足、もしくは資格不足と判断された場合は選択肢 1 よりライセンスを取得するよう言及がある。申請が認可された場合は Formula Drift より仮ライセンスが正式発行される。ライセンスに関する請願は Formula Drift のライセンス委員会により審議される。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

- 2.3 Formula Drift PRO2 競技ライセンス
昨シーズンの Formula Drift PRO2 チャンピオンシップポイントを最低 64 ポイント取得したドライバーは次年の Formula Drift PRO2 ライセンスが自動的に更新される。

昨シーズンの Formula Drift PRO チャンピオンシップシリーズポイントで Top16 以内に残ったドライバーは次年の Formula Drift PRO2 大会には出場不可。

仮 Formula Drift PRO2 ライセンスを必要とする新規参戦選手含む、他選手は以下二つの選択肢がある。仮ライセンスは該当するシーズン中の限定されたイベントのみ参加可能となる。Formula Drift のイベント内で競技適正にそぐわない、もしくはポイントが獲得出来ない場合は仮ライセンスの剥奪となる。

選択肢 1: Formula Drift ライセンスシリーズ(例:FD Asia 大会、FD PRO-AM 大会等)

競技者が Formula Drift PRO2 ライセンスの所有権を取得するためにはまず Formula Drift ライセンスシリーズ大会に参戦する方法がある。この大会は各地域で公認されたシリーズの最低年間 4 戦で構成される。ライセンスシリーズの終わりのシリーズポイント上位軍に Formula Drift PRO2 ライセンスが与えられる。ライセンスシリーズの審査は Formula Drift に各地域で公認された機関が厳選したオフィシャルによって行われる。コースレイアウトは通常の Formula Drift PRO チャンピオンシップのコースに基づいて同様のスピードおよび難度を再現したものとなる。各ライセンスシリーズは独自の規定がある場合があるので、詳細については該当するライセンスシリーズに直接問い合わせる事。最新のライセンスシリーズのリストは別表 D - 2018 Formula Drift ライセンス公認シリーズ参照。

選択肢2: 請願申請

Formula Drift PRO2 選手権に参戦するための資格があると思われる選手は Formula Drift ライセンスシリーズに参加せずに Formula Drift へ請願を提出する方法がある。請願書は Formula Drift の運営局へ連絡を取り入手する事が可能。審査に必要な時間を要した後に Formula Drift より申請者へ報告を行う。経験不足、もしくは資格不足と判断された場合は選択肢 1 よりライセンスを取得するよう言及がある。申請が認可された場合は Formula Drift より仮ライセンスが正式発行される。ライセンスに関する請願は Formula Drift のライセンス委員会により審議される。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

3 行動準則・規範

3.1 選手／チーム 外見

選手とチームは清潔感を維持する事。選手のユニフォームは規制に即する物とし、ダメージの無い物を使用する事。選手のユニフォームは目視が可能な位置に選手名を施す必要があり、シリーズ戦のパッチを規定の下刺繍する必要がある。また、チーム名、もしくはチームロゴも必須となる。

グリッド内の「ホット」と呼ばれる区域はユニフォーム着用者のみ立ち入りが許可される。

3.2 行動規範

パドック及びコース上の行動

選手、クルーメンバー、もしくは他ハードカードを所持している参加は、Formula Drift のオフィシャルにより危険行為と見なされた場合に最低で\$500.00 USD から最高で約\$10,000.00 USD の罰金が課せられる場合があり、特定の Formula Drift のイベント、もしくは全ての Formula Drift のイベントへの立ち入り禁止を課せられる場合がある。選手とチームメンバーは個々安全含め周囲の環境、人、行動、車両は機材に対して安全第一を念頭にすべし。Formula Drift はどの行動や状況が上記規定への妨害となるかを考案する権利を留保する。どのような怠慢、安全管理の違反行為は許容されない。

オフィシャル、関係者、もしくは審査員への態度

全ての Formula Drift の競技選手達とそのチームメンバーは選手とチームメンバーの技術力、レース運営、もしくは審査方式に対してオフィシャル及び審査員へ質問及び議論する権利を持ち合わせている選手、もしくはチームメンバーの個々の態度が不適切な場合は上記のような処置が取られる可能性がある。

行動規範の適用

行動規範はテスト日、準備期間、公式会議中から記者会見、公式行事への出席、大会やデモイベント等に限定されず、全ての Formula Drift 関連行事の最中にて適用される。

チームは選手、代表者、チームメンバーにゲストに対し全ての Formula Drift 関連行事に対して責任が依存されており、プロ意識を持って行動するべし。

3.3 懲戒処分

規則違反

ここに記載されている他違反の追記として、以下行動は規則違反と見なす：

競技関係者への賄賂の送付、または受理をする行為。

不適切とされた人物の競技への参加やそれに対する行動。

Formula Drift の思想に反する、あるいは一般的な自動車競技・モータースポーツに対して有害、危険と見なされる行動等への参加。

無謀、もしくは危険な運転行為。

レースオフィシャルからの指示等に従わない。

オフィシャルとの協力や連携の拒絶行為や妨害行為等。

謹慎期間中の違反行為。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

公共でのシリーズに対する、もしくはオフィシャルやスポンサー等に対する批判行為。

スポーツマンシップ精神に反する行為。

意図的に参加者やオフィシャルを傷つける行為、あるいは同等の冒瀆的な暴言や身振り等。

技術責任者からの依頼による車両の検査や調整に背く行為。

極端な不正行為があった場合、Formula Drift は必要に応じて施された処置以外の処分を講ずる権利を留保する。

処罰

Formula Drift の規制、規則、付則、もしくはイベントに適応した条件や特別ルールに対する違反行為は参加者、オフィシャル、他関係者に適応される。処罰の評価はレース協議中の違反行為のみとは限らない。

処罰を課す前に、規律委員会による稟議が必要であり規則、規制の確認やそれに伴う証拠、証言の審査、聴聞を行う必要がある。

譴責

規律委員会は譴責を行う事が可能とする。Formula Drift ライセンス所持者への譴責はライセンスファイルに譴責の詳細が明記され、以下特定、もしくは全ての違反行為が明記される。

罰金が課せられる、もしくは賞金の剥奪

規律委員会より参加者、選手に対してシリーズへの、もしくはシリーズスポンサーに対する有害な行為と言った理由により最大\$100,000 までの罰金が課せられる場合がある。

罰金請求に応えるまで選手の権利は自動的に剥奪され、請求が完了するまで権利は保留となる。次のイベントまでに満額応えられなければハードカードはオペレーションディレクターへ没収となる。全ての罰金、異議申立料は以下宛先まで発送とする。FORMULA DRIFT 200 Pine Ave. Ste 615, Long Beach, CA 90802。

競技にて失格となった選手もしくは参加者はその大会での全ての賞品および賞金が剥奪される。

Formula Drift 競技権の執行猶予期間に関して

執行猶予に関する概要は規律委員会の署名を要する。書類の控えは選手、参加者、もしくは他関係者へと配布されるべし。もう一方は Formula Drift にて管理する。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

上記、執行猶予の概要に関する文面は執行猶予が課せられた7日以内に送付される。執行猶予期間の終了後、規律委員会より期間終了を告げる文面が発行される。当執行猶予に関しては対象選手のファイル内に明記される。

Formula Drift、競技特権の停止

規律委員会は最大で12ヶ月間の競技権を剥奪する事が可能。ハードカードの引き渡しが遅れた場合は遅れた日数に対して停止期間が延長されていく。ハードカードの徴収が決定された場合に、保持者はFormula Driftのハードカードを競技責任者へ即引き渡す事が必要となる。

減点

該当する場合、必要に応じて規律委員会はイベントの点数、もしくはルーキーを含む加算点、他副競技(トリプルクラウン等)を減点する可能性がある。

除籍

規律委員会はFormula Driftからの除籍を命じる場合がある。

アプリケーション

停止期間30日を2回等、連続した処罰が課せられる場合がある。

違反の範囲

規律委員会は特定の処罰、混合の処罰や対処を対象に課せる事を可能とする。

順位改訂

失格とする処罰に対して規律委員会は既存の順位の見直しを行い、次の該当者が順位に相当するかを判断する必要がある。

処罰の公表

Formula Driftは処罰された対象者、団体、車両等を理由含め公表する権利がある。対象は公表された内容に対する抗議をFormula Drift、もしくは公開した人物に対して抗議を行う事は不可能となる。

3.4 エントリー

参加者はFormula Driftより発行されるエントリーフォーム、もしくは手順を順守する必要がある。参加申請を行い、付則含む規則により認可された場合には契約書を構成する必要がある、外部からの力が無い限り参加者と競技の結束を深める。当契約に対する違反行為は規則への違反と見なされる。

エントリー拒否

何らかの理由で参加者が競技へのエントリーを拒否された場合、明記された住所へ最低5日前までにはエントリー拒否に関する文書が郵送される。Formula Driftは任意の参加者へのエントリーをコース上、もしくは外での態度や行為、団体、または所属が当スポーツに対して適切では無いと判断され、且つ不快である場合に拒否する可能性がある。Formula Driftは処置に関して黙秘権を留保する。

エントリーの偽造

エントリー内に偽の情報等の齟齬があった場合に無効とされ、規則への違反と判断され、費用が没収される場合がある。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

エントリー権の撤回

イベントの 14 日前であればエントリー権は書面、もしくは電話にて言及あれば剥奪される場合がある。左記の場合、Formula Drift よりエントリー費用の払い戻しが施される。適切な撤回に対する処置をとらなかった選手もしくは参加者のエントリー費用は喪失とされる。適切な処置をとらなかった、加えて同時期に別場所で競技参戦している選手もしくは参加者はエントリー費用の喪失、また、規律委員より処罰が課せられ、判断に対する抗議の権利を持たないものとする。

条件付きエントリーの引き受け

プロ大会であるため、Formula Drift は選手、選手への合否を認可する権利を持ち合わせている。エントリー承認に関する疑いがある場合は競技責任者と技術責任者からの承認が無い限り、エントリーして競技する事は許されない。

3.5 アルコール、麻薬、ドーピング剤もしくは娯楽剤の服用

参加者の麻薬や規制物質、ドーピング剤の服用、もしくは娯楽剤の使用は連邦および州、いずれかの法律によって定められている通り処方箋があった場合でも認められない。アルコール類の取り入れもシリーズやイベントの公式行事が完了するまでは摂取してはならない。

Formula Drift は各個人の負担で吸気検査や血液、尿検査を含めドラッグテスト等を促す権利を留保する。検査を拒否した場合はイベント、もしくはシリーズから取り外される。

4 一般規制

4.1 オフィシャル

全ての Formula Drift のイベントは Formula Drift によって認可された個人、派遣、もしくは関連会社等よりオフィシャルのスタッフとしてイベント運営を行う。オフィシャルとしての業務が含まれる。

競技マネージャ

テクニカルマネージャ

スターター

登録係

得点係

審査員

担当者は全て「オフィシャル」と呼ばれ、それら業務のアシスタント係も「オフィシャル」と呼ばれる。コース上でのセッション中以外の時間もオフィシャルは対応を可能とし、競技マネージャ以外の全てのオフィシャルの担当業務が完了するまでとする。オフィシャルの人間はイベント中の運営者、関係者、チーム、選手、オフィシャルやスポンサーとの直接関与の中で業務に支障を来すような利害衝突の無いものとする。また、オフィシャルの人員は個人が担当するイベントでの競技参戦は出来ない。

行動規範

全てのオフィシャルは最も高い行動基準によって行動すべく、契約を結ぶべし。これを怠った場合は Formula Drift によってオフィシャルとしての資格を取り消され、処罰に値する場合もある。Formula Drift によって利に反すると見なされたオフィシャルはイベントに対する参加資格の許可を得る事は出来ない。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

競技マネージャ

競技マネージャはイベント中の競技に関するオフィシャル含む参加者の態度、コース上の安全、Formula Drift の規則、規制に対する責任がある。担当者は全ての規則が内容に沿って順守しているかを確認する。

審査員

審査員は Formula Drift によって定められた競技概要に沿って得点や点数を個人、もしくはチームへと振り分ける責任がある。

審査員、もしくはその他の Formula Drift から公認された団体が全ての大会の予選点数、チャートおよび結果の管理をする責任がある。

審査員、もしくはその他の Formula Drift から公認された団体が予選と追走ラウンドの公式結果を蓄積し、展開する(全ての抗議が解決した上で得点係と最低一人の公認審査員が結果を公式と承認した後)。

テクニカルマネージャ

Formula Drift の技術責任者と以下被指名人は技術規制に対する全ての権限を持ち合わせている。彼、彼女等の決断は最終であり、議論は受け付けない。さらに、必要に応じて現場での車両スペックに対する変更や規則、規制への追記や改訂を施す事が可能とする。チームへの伝達は公示によって配布される。

技術責任者は規則に対する適合性を考慮して検査や解体を依頼する事が可能である。

技術責任者はシリーズ中に車両に対し規則への適合性が無いとし、失格、もしくは違反とみなす権利を留保している。当決断が下された場合は規律委員会より規制にある通り正当な処罰が下される。

技術責任者は選手の安全に対する規制への適合性を推進する義務がある。

技術責任者は最優先引受権を留保する。チームより規則に反する、もしくは意図に対して齟齬のある変更を車両へ施すと認識された場合、技術責任者から即時に対応を却下する事を可能とする。

登録係

登録係は参加者の承認、選手、関係者、チームメンバー、オフィシャル、販売業者、スポンサー、企業に対する資格認定を実施、管理する責任がある。登録係は正式参加、申請と推移に対して管理を行う。他個人や団体はシリーズやイベントに対する資格発行を Formula Drift からの承諾無くして取得する事は出来ない。

4.2 シリーズ ID (身分証明書)

デカール、パッチ、エンブレム、そしてロゴは Formula Drift の規則に基づいて装着する必要がある。Formula Drift は各識別、マーク、ロゴ、公式の Formula Drift イベント外の肖像、もしくは他知的財産を使用するための承認、許可を必要とする。Formula Drift の許可無く使用されている格式別、マーク、ロゴ、公式の Formula Drift イベント外の肖像、もしくは他知的財産は違反行為と見なされる場合があり、それに伴い罰金や失格、もしくは訴訟となる。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

4.3 登録

登録は登録管理者の指示に従い行われる。登録は先着順となり、Formula Drift のオフィスでのみ可能であり、有効な Formula Drift のライセンス、もしくは仮ライセンスを必要とする。Formula Drift は登録可能な最大数や締め切り日を定める事を可能とする。

全ての Formula Drift 選手、チーム、来賓、参加者、そしてスポンサーは登録必須となる。各イベント毎の補足規制もしくはセットアップ書類を参照して場所や時間を確認するべし。

4.4 チーム代表者

各チームは一名の代表者を選ぶ事。代表者であるスポークパーソンは抗議申請や「5分規制」の施し、車両の登録もしくは離脱、チームへの信任状の追加等に対する唯一の公式発言を行う事が出来る。もしイベント中に代表者が変わるような事がある場合は登録管理者、テクニカルマネージャ、そして競技マネージャへの伝達が必須となる。

4.5 スポッター

各チームに一枚スポッターカードが配布される。スポッター席は審査席から近くに配置され、できるだけ審査員と同じ視界を保てる様に考慮される事。追走ラウンド時はチームから指定されたスポッターがスポッター席に必ず居なければならない。チームに指定されたスポッターが存在しない場合は他のチームのスポッターに代理で勤めてもらう必要がある。

4.6 会議出席

イベント期間中に Formula Drift オフィシャルは選手やクルーチーフ、チーム代表者等と様々な会議を実施する。当会議は単体の会議、複数回に渡る会議があり十分な通知が補足規制や他通知にて各位へ連絡がある。参加者は競技に関する規制の変更や新規となる規制、規則の説明が施される。各選手、そしてクルーチーフは対象となる各イベント毎の補足規制等に記載される会議の出席を必須となる。選手はレーシングスーツの着用を義務づける。不参加となる選手もしくはクルーチーフは Formula Drift からの正式な免除が無い限り違反行為として最低で\$150 の罰金となる。追記として、会議未出席者は対象会議中に議論された内容や規制に対する抗議等は一切受け付けないものとする。Formula Drift は公式会議に対する欠席等に対して処罰を与える事を可能とする。各選手、クルーチーフ、チーム管理者や参加者はサイン会、インタビューの場、もしくは他メディア関連のイベントへの出席を通知があった場合に必須とする。

4.7 ピット、パドック、コースでのルール

「ホット」と称される区域での業務担当者は適切な服装(爪先の閉じている靴、ロングパンツ、そして袖付きの衣類)を練習走行中、競技中と常時着用する必要がある。グリッド手前の区域のみチームメンバーのショートパンツ着用が許可される。ホット区域で業務を行うチームメンバーは正装(チームウェア等)が義務づけられる。

Formula Drift のハードカード所持者のみ制限区域への立ち入りを許可する。ハードカード着用者はハードカードを常に目視可能となるよう着用する事。

ホット区域での喫煙は許可されない。ペットの同伴もホット区域では認められない。

競技マネージャの許可無くして「ホット」とされるコース内に入る事は許可されない。

競技マネージャ、もしくはその代表者はスタートライン、グリッド、プレ・グリッド、パドック、そして競技コース内での執行の権威を持つ。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

エンジンはオンボードに搭載されるスターターとそれに伴うパワーサプライによって始動される。グリッドにてエンジンが始動出来ない選手は開始前のグリッドポジション内にいる場合のみ押し掛けを可能とする。グリッドでの押し掛けは Formula Drift のオフィシャル立ち会いの下安全確認を行いながら行うべし。開始前、もしくはレース中の押し掛けは競技マネージャより承認を得た場合のみ可能とする。

補足: 当規約はオンボードに取り付けるスターター、そしてパワーサプライを廃止出来るわけではない。

スターター、パワーサプライは原則稼働可能な物のみとする。オンボードに搭載されるスターターはコース上、もしくはスタートライン内での駆動力としての使用は禁止されている。ただし、コース上で緊急事態の場合は駆動力としての使用を許可する。選手は個人車両の押し掛けを安全の理由無くして行ってはならない。選手は緊急時以外は補助無しが原則となる。レースオフィシャルの安全確保に関する対策の場合は除外される。

競技マネージャ、もしくはテクニカルマネージャは全ての車両に対して予測されうる事態を下に他競技車への危険を及ぼす場合はコース上より撤退するよう指令を出す事を可能とする。

プレ・グリッド、グリッド、スタート区域もしくは他指定区域内での車両に対する燃料補給を禁止する。燃料補給は競技マネージャより指定されたチームパドック区域でのみ可能とする。車両温度が冷えきっていない場合の給油作業は十分に配慮をする事。燃料供給の際、認可されたチームメンバー2名のみが給油中の半径10フィートまでの立ち入りを許可する。

FORMULA DRIFT JAPAN は全ラウンド、ドライバーとギャラリーの距離を少しでも縮めて頂けるよう、オープンパドックとしております。オープンパドックとすることで一般のギャラリーもパドックに入ることが可能となり、より近くでピット作業を見る事が出来るようになっておりますので、特にジャッキアップしての作業をする場合は必ずピットクルー最低1名がつき注意喚起を行い、ギャラリーがピットに入らないようにパイロン等で規制するなどして、事故防止に全力をもって取り組んで下さい。

また、同様の理由で、ピットから車両を出し入れする場合には各チームのピットクルーが笛を吹きながらチームの車両の誘導を行いこと。

※笛に関しましては各チームに2~3個、事前に事務局より支給。

4.8 規制、スペックへの改訂

Formula Drift は規則、規制に対する改訂を告示によって行う権利を留保する。告示は競技参加者やスタッフへ E メールにて展開される、同様に Formula Drift のオンライン掲示板にも連載される(アクセス方法に関しては登録者項を参照)。テクニカルマネージャは必要に応じて安全規約に対する改訂を行う事を可能とする。各チームは既存の規制、もしくは告示に対して順守するよう請け合う。

参加者からの改訂に関する意見も取り入れており、発効日の最低14日前には提出されていない。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

4.9 旗信号

下記の旗信号は選手達へあらゆる状況を伝えるために使用され、且つ状況別において選手達へ特定の状況を伝えるために使用される。布地の旗を基本として使用するが、同種に振分けられたカラーボードの使用や信号を使用する場合もある。

黄 要注意の意、該当する旗の管轄内で何か問題があった事を告げる。コースが部分的に、もしくは全体的に塞がれている可能性がある。車速を落とし、方向転換、もしくは停止の準備を行いつつ注意を払って問題箇所を通過するべし。追い越しは禁止。

赤 セッションの中止を告げる。注意を払い、即停止を行う。追い越しは禁止。指示に従い、必要に応じてピットレーンへ戻る。

4.10 無線通信

Formula Drift のチームは競技マネージャより発信されるコース情報、スケジュール調整、再スタートや他情報をレースオペレーション用の無線通信周波数にて確認をする。各クルーは選手への適切な情報を即時に伝達する義務がある。各チームはオフィシャルが使用する周波数、もしくはチャンネル上での情報伝達を行う事は許可されない。

各チームは競技車両、スタッフ、チームメンバーに対して 2way 無線通信を常備する必要がある。チーム、選手、補助やクルー間で情報交換を行う。チームが使用する周波数はレースコントロールやコース、緊急ネットワーク、またはその他と干渉してはならない。チームは Formula Drift 使用する周波数、もしくはチャンネル上での情報伝達を行ってはならない。

レースオペレーションの使用する周波数 461.0750 とする。

各チームは上記周波数の確認を随時行うこと。

Formula Drift は当無線通信機器に対するコスト負担の責任は無い。

4.11 同乗者

同乗走行は競技マネージャによる事前承認が無い限り認められない。競技マネージャ野判断による保険や同意書等、補足書類等を記入する必要がある。同乗者は同乗走行の規制及び規則に従う必要がある(別表 B 参照)。

4.12 エントリー車両

各選手はイベント中、一台の車両でのみ競技参加可能とする。初期練習走行のセッション時にスタートラインを超えた時点より車両の変更は不可能となる。

全ての車両は Formula Drift の技術規制に順守する使用とする。

5 抗議

5.1 非公式の問い合わせ

正式抗議の前に対象者は非公式に問題を解決する事を推奨する。詳細の認識後に不和と見なされる可能性がある場合、対象者は Formula Drift のオフィシャルへの打診を承諾する。オフィシャルは該件に対して最適な対処を施すために最善を尽くすが、場合によっては競技マネージャへ事案が回される場合もある。任意の決定や返答が延期する場合もあるため、対象は問題の即時解決は期待できない。

非公式な問い合わせはオフィシャルの職務、またはイベント、他参加者への妨害行為となってはならない。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

5.2 抗議抗告

大会中の審査員の判定に対しての抗議申請は追走ラウンドの Top8(Great8)以降のみ有効で、次のラウンドが始まる前に行わなければならない。(例:Top4(準決勝)での抗議は決勝戦が始まる前に申請する必要がある)

抗議内容は審査員の判定内容の非主観的内容または見落とした内容のみ有効となる。(例:「ゼロ点」判定を受けるべき走行に得点が与えられた場合等)

審査員の予選の審査結果は抗議対象とはならない。

主観的内容を含む審査員の審査結果は抗議対象とはならない。

全ての抗議は競技責任者へのみ申請されるべし。

全ての抗議は Formula Drift の規則、規制に対して違反行為となる詳細を書面にて示す必要があり、参加者、もしくは選手による署名、そして申請費となる\$50.00 を規制に記述されている期限内および 4.4 項に準拠したものとする。抗議費は競技責任者より十分な根拠があると見なされた場合には返却される。

登録に対する抗議、参加者もしくは選手または車両の適合性に対する抗議は随時受け付けている。車両に関する抗議は一環して技術責任者が審査を行う。

オフィシャルの他行為に対する抗議は該当する行動から10分以内に言及すべし。

抗議通知は競技マネージャに即通達されるとは限らない。抗議によっては大会の進行を優先する場合がある。

5.3 抗議の聴聞

競技責任者、もしくはその被指名人は抗議を聞き入れ、早急な対処を施すべし。競技責任者は利害関係者等へ発言権を与える。競技責任者の意向、決定は最終とする。

抗議は全て根拠や証拠があり、論理的且つ合理的とする。ただし、十分な根拠がある場合でも抗議が却下される場合もある。不十分と見なされた案件に対する抗議料は没収となる。

6 競技方式 – Formula Drift PRO チャンピオンシップ

6.1 概要

ドリフトとは運転技術の一つであり、コース上で選手が故意にリアタイヤのグリップを失い、カウンターステアを行いながら車両を操る事である。原則、審査員が設定する走行ラインは選手がコントロール可能とする車速、角度の許容範囲内である。

Formula Drift 選手権は二日間を通して開催される大会、もしくはシリーズ戦から成り、各選手は 1 対 1 の戦いを行う。各選手は予選を勝ち抜き、各対戦カードを決めて行く。

1 対 1 の直接対決時は審査員による定められた数々の基準を満たした選手のみが勝ち抜ける。点数と順位は最終結果とそのシーズン中の累計で決められる。

審査対象は以下となる:

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

走行ライン

コース上に定められたイン・アウトクリッピングを下に定められたドリフトの走行ラインである。各コースの理想走行ラインは審査員によって決められる。

角度

選手がコース内で維持出来る車両の最大ドリフト角を指す。

スタイル

スタイルは選手の走行中に最も主観的となる審査基準となる。スタイルはその名の通り、選手による審査基準をいかに個性的にまとめられるかが当審査の本質である。好戦的な動き、壁との接近距離、極端な角度、そして追走時の先頭車との距離感等がスタイルの例として挙げられる。

審査員はスピードガンで計測された車両速度も審査の補足として考慮できるが、基本的に車両速度は会場客、ネットでのライブストリームおよび TV 放送のエンターテインメントの為に使用される。

競技中のタイムアウト

競技の安全を保障する為、追走ラウンド時のみ各チームは必要な修理をする為のタイムアウトを申請する事ができる。練習および予選時にはタイムアウト申請不可。特に修理が必要なく、戦略的なタイムアウトの使用は禁止。指定されたチーム代表者が Formula Drift オフィシャルに申請した時のみタイムアウトは有効となる。タイムアウト申請は競技マネージャのみ承認できる。不当と見なされたタイムアウトは否認される。タイムアウトの制限時間は 5 分で、競技マネージャにより計測される。

制限時間内で必要な修理を完了できなかった競技者は失格となり、該当する追走ラウンドの敗者となる。

各チームは一つの大会でタイムアウトを1回のみ使用できる。1回以上のタイムアウトはこの規定に例外として記載されている内容以外では禁止となる。

タイムアウトでの車両修理はコース脇、プリグリッドまたはホットグリッドで行う必要がある。タイムアウト中にピットに戻る事はできない。

追走ラウンド中の車両修理・サービス

追走ラウンドの 1 走目と入れ替え後の 2 走目の間に競技車両のサービス(タイヤ交換、タイヤ内圧調整、足回り調整、燃料補給および冷却等)は禁止。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

6.2 予選

予選フォーマットは従来の方法を起用する。チャンピオンシップシリーズポイントの一番低いドライバーから順に2回(連続ではない)走行をする。ドライバーは各走行後に得点を確認でき、最終的に残ったTop32人が追走ラウンドへ進める。複数の予選得点が同点だった場合はまずスタイルポイントが高い方を優先し、さらに同点だった場合は計測された速度を優先判定として使用する。

大雨またはその他の悪天候が生じても予選および追走ラウンドの進行に影響が出ない場合に審査員は状況に適した審査基準を応用できる権利を持っており、その内容は各スポッターおよびドライバーに展開される。

天候またはその他の原因で予選が決行できなかった場合は昨シーズンのシリーズポイント順またはランキングに基づいて予選結果順序が決められる。

予選得点の分配

予選では各審査員は割り当てられた評価基準を重点的に審査する:
各自走行ライン、角度またはスタイルを別々に審査する。

走行ライン審査 = 最大 30 点

角度審査 = 最大 30 点

スタイル審査 = 最大 40 点

最高合計得点は 100 点。

複数の予選得点が同点だった場合はまずスタイルポイントが高い方を優先する。

0 点となる審議対象:

スピン

明らかに長引いた戻りやドリフト状態を維持できなかった場合(一瞬だけ戻ってからドリフトを続ける走行は大きな減点にはなるがゼロ点にはならない。判断は審査員が下す。)

指定されたコース内から車両のタイヤが2輪以上はみ出た場合。

ボンネット、リヤハッチおよび、またはドアが開いてしまった場合。

スピンを誘発または車両のドリフト状態に大きく影響が出る様な接触(壁、ガードレール等)

リプレイ

予選進行中に審査員はリプレイのリクエストをする事が可能だが、通常の進行フローとしてはドライバーの走行のみでリプレイは無しとする。

クリッピングとコースマーカ

パイロン、もしくは同等のマーキングがクリッピングゾーンに設置されている。イン側のクリップに接触した場合は車両のコースアウトと見なし、度合いによって減点、もしくは無得点となる。アウト側のクリッピングゾーンをドライバーのリヤバンパー以外の箇所(リアタイヤ、ドア等)で接触し、かつコース内から車両のタイヤが2輪以上はみ出た場合はゼロ点とな

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

る。アウト側のラインとして施されているマーカーは競技中に接触してはならない。当マーカーへの接触も同様にコースアウトと見なされ、減点、もしくは無得点の対象となる。選手会議の際に審査員より各選手へ詳細が伝えられる。

アウト側クリッピングゾーンの壁やパイロンとの小さな接触は走行中の車両に対して影響が無い場合減点対象とはならない。接触後、必要以上の修正を必要とせず、理想とする走行ラインの維持、速度と角度が維持されている事を指す。接触がクリッピングゾーンとしてマーキングが指定されていない区域で起きた場合は減点対象となる場合がある。スピン、もしくはアンダーステアが要因でアウト側のクリッピングに接触した場合は無得点となる。

6.3 追走脱落戦

合計 32 人のドライバーが追走脱落戦に選ばれ標準の 32 人ブラケットを使用して戦われる。追走は 1 対 1 形式で行われ、予選通過者がペアとなり 2 本走行する。1 本目は上位予選通過者が先攻を走り、2 本目は入れ替わって下位の選手が先攻となる。

3 位決定戦は行われない。3 位は Top4 での敗者 2 人の内の予選通過得点が高い方に与えられる。

先攻

先攻の車両はコースにてドリフトを行い、予選時に定められた速度、走行ライン、角度によって審査される。原則、先攻を走る車両はクリッピングや走行ライン、角度、可能であればスタイルへの集中とするため、予選時の 90% 程度の走りとする。

後追い

後追いの車両を先攻を駆る車両を動くクリッピングと扱い、先攻に行く車両よりも角度、スタイルを重視する。速度に関しては、後追いを行く車両は可能な限り先攻に行く車両に接近する事が可能だが、後追い車両の前輪が先攻に行く車両の前輪に入る事は禁止とする。先行車両の前輪より先に出してしまった場合は後追いのドライバーが原点となる。先攻の走行ラインを追い、深めのドリフト角を維持し速度の調整によって距離を一定に保てば後追いは先攻に対し優先とする。

追い越し

Formula Drift では追い越しを可能とする。先攻車両の走行ラインが審査員の設定したラインよりも大きく外れている場合、後追い車両はコース上のどの区域でも先攻車両を追い越す事が出来る。前述の基準を満たさない追い越しを行った場合は違反行為と見なし、無得点の対象となる。後追いの車両が基準に沿った内容で完全に先行車両を追い越し先行としてのポジションを成立した場合にはその車両が先行車両と見なされる。

追走審査対象

0 点となる審議対象:

スピン

明らかに長引いた戻りやドリフト状態を維持できなかった場合(一瞬だけ戻ってからドリフトを続ける走行は大きな減点にはなるがゼロ点にはならない。判断は審査員が下す。)

指定されたコース内から車両のタイヤが 2 輪以上はみ出た場合。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

「回避可能」と判断された車両接触。

後追いの対戦相手が1本目でゼロ点だった時に2本目でアドバンテージとなる後追いドライバーが積極的に先行車両を追わない場合。

追走脱落

3名の審査員により1対1の追走戦は審査される。走行1本目と2本目の合間に審査の発表は行われない。各追走戦の結果は各審査員それぞれが勝者を発表する。審査員内で意見を交わす事は許されているが勝者が示された書面を他の審査員にみせることは禁止されている。審査員を分離するものが使用される場合もある。審査員は以下3点の中から選ぶ:

選手 A の勝利
 選手 B の勝利
 "One More Time"

結果の過半数が勝者として決定される。過半数が不確定である場合、"One More Time"となり再度2本走行が行われる。勝者を決めるために複数の"One More Time"を実施する場合もある。

審査例:

シナリオ	審査結果		勝者
1	審査員1	選手 A	選手 A
	審査員2	選手 A	
	審査員3	選手 B	

シナリオ	審査結果		勝者
2	審査員1	選手 A	選手 A
	審査員2	選手 A	
	審査員3	One More Time	

シナリオ	審査結果		勝者
3	審査員1	選手 A	One More Time
	審査員2	One More Time	
	審査員3	One More	

シナリオ	審査結果		勝者
4	審査員1	選手 A	One More Time
	審査員2	選手 B	
	審査員3	One More Time	

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

審査は全て審査員席より行われる。クリッピングが審査員席より死角となっている場合、旗や閉回路モニター等を使用して正確なクリッピング状況を把握する。

リプレイ

リプレイの繰り返しは Top8(Great8)までは禁止とする。通常の進行フローは各追走走行後に一度のみリプレイをし、1 回以上のリプレイは Top8 ラウンド以降のみ可能とする。Top8 が始まった後は審査員が複数のリプレイをリクエストする事が可能となる。競技マネージャも審査結果に車両の機能的問題が原因に関連してと思われる場合はリプレイのリクエストが可能とする。

6.4 接触事故

ドリフト走行中の接触に関しては Formula Drift の競技の一部として認識されてはいるが、1 対 1 の追走ラウンド中での接触に関しては以下規制と指標が存在する。

先攻

コース上で先攻を駆る車両は審査員より定められた走行ラインを守り、適切な速度を保持するべし。設定速度を保てない場合、対象選手への減点となる場合がある。通常、先攻車両の走行速度は予選と同じ速度をキープする必要がある。速度の容認範囲は予選走行速度の±8km/h とするが、大会が進行する中でのコースの環境変化から先行および後追い車両の速度にも影響が出る事は Formula Drift も理解している。

先攻を駆る車両がドリフトを維持出来なかった場合、もしくはコースアウト、予選時に対する速度違い等があった場合、接触要因は先攻を駆る車両の責任とされる。各審査員として、これらの障害を審議する義務がある。状況によっては先攻を駆る車両の要因で接触が起きたとは限らないが、これらは全て各審査員の判断とする。

後追い

後追いの車両は先攻を駆る車両の後を追う事。後追いは先攻を駆る車両の速度を予測する事を推奨する。後追いの車両が接触を起こした場合、補足が無い限りは原則として後追い側の要因と判断される。「擦る」等といった接触は許容範囲内であるが、これが要因となり先攻を駆る車両への影響、ドリフトの維持や走行ラインへ影響が出た場合は許容範囲外となる。

接触によるダメージ

接触があり、車両に対するダメージがあった場合、審査員は多数決を行い要因の究明、判定を下す。接触によるダメージが見られた場合、各選手、そしてそれらの補助係は競技中のタイムアウトを制定を可能とする。当タイムアウト期間は 5 分となる。与えられた時間枠の中で、車両に対するほぼ全ての修復作業は可能であると予測される。

状況によっては車両のダメージに対する修復時間が与えられた時間枠内では実施不可能な場合もある。この場合、接触の要因とならない車両のみ延長を申し入れる事を可能とする(この行為は各チームのタイムアウト制定を妨げる事は無い)。イベントを尊重し、競技責任者は残りの競技続行を指示する権利を留保する。競技責任者は後に継続する試合の合間に、もしくは全ての試合終了後に保留となった対戦を行う。

ほとんどの場合、Formula Drift はチームや各選手に対し、1 対 1 の試合を完了する事を推奨するが、修復作業が完了しない、もしくは前試合で接触等があった場合は、審査員で勝者を決める権利がある。

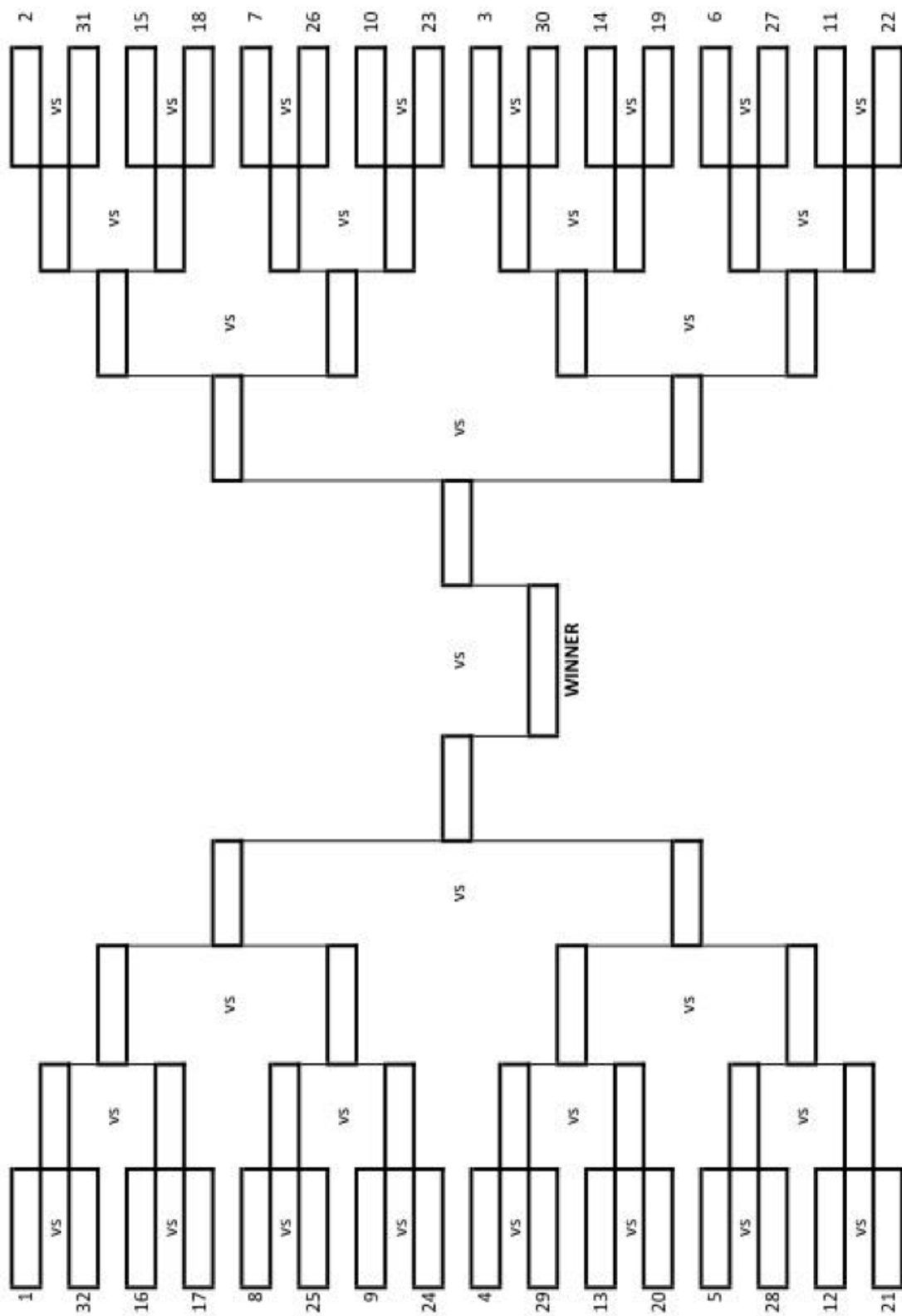
FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

修復作業が完了せず、また接触の要因が対象となるチームの要因では無かった場合、Formula Drift のオフィシャルが車両の状況を確認し修復作業が次の試合までに間に合わない事を認識した上で、対象選手を該当する試合の勝者と見なす。選手は次試合に進む事が許されるが、過度なダメージがある場合は辞退する事も可能とする。

先攻、後追いと両者共に一本目で個々の要因からなる理由で事故を起こし、両者共に過度の損傷が見られた場合は予選通過得点の高い方を優先的に勝者とする。先攻、後追いと両者共に二本目で個々の要因からなる理由で事故を起こし、過度な損傷により継続不可能となった場合、勝者は一本目の得点結果にて勝者が判断される。

FORMULA DRIFT Championship 2019 スポーティングレギュレーション



FORMULA DRIFT Championship 2019 スポーティングレギュレーション

FORMULA DRIFT JAPAN
ポイント

追走	
優勝者	100
2位	80
3-4位	64
5-8位	48
9-16位	32
17-32位	16

予選	
1位	7
2位	6
3位	5
4-8位	4
9-16位	3
17-32位	2

Formula DRIFT PRO ライセンス自動更新条件=Formula DRIFT PRO シリーズランキング結果で Top32 以内。

Formula DRIFT PRO2 ライセンス自動更新条件=Formula DRIFT PRO2 で最低 64 点獲得。

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

別表 A - Formula Drift PRO および Formula Drift PRO2 の概況報告書

2019 FORMULA DRIFT JAPAN チャンピオンシップ

登録

ライセンスが交付された選手にはハードカードが 4 個付属される(ドライバー1、スポッター1、メカニック 2)。各イベントの個別登録も可能。*

*Irwindale 戦はスペースに限りがある為、当該シーズンの最低 4 戦に出場しているドライバー・チームのみ最終戦の Irwindale 戦に登録可能となる。

ハードカード

コース上に入る必要がある承認された参加者に与えられる。

ライセンス

2019 シーズン Formula DRIFT JAPAN ライセンス所有権:

2018 年シーズン結果時点でシリーズポイントを最低 100 点保持している者。
請願申請 (承認に基づく)

2019 シーズン Formula DRIFT JAPAN ライセンス取得権:

Formula DRIFT ライセンスシリーズ/FD PRO-AM シリーズの上位ランク勢。
請願申請 (承認に基づく)
※ただし、2018 年 1 戦も出場していない選手は上記には該当しない。

2019 シーズン Formula DRIFT JAPAN ライセンス所有権:

2018 Formula Drift PRO Championship シリーズポイントで上位 32 人に残ったドライバー

2019 シーズン Formula DRIFT JAPAN ライセンス取得権:

2019 MSC チャレンジ エキスパートクラスで上位 4 人に残ったドライバー
請願申請 (承認に基づく)

2018 FORMULA DRIFT PRO2 チャンピオンシップ

登録

イベント現地での登録は不可。

各イベントの個別登録も可能。*

*Irwindale 戦はスペースに限りがある為、当該シーズンの最低 2 戦に出場しているドライバー・チームのみ最終戦の Irwindale 戦に登録可能となる。

ハードカード

コース上に入る必要がある承認された参加者に与えられる。

ライセンス

2019 シーズン Formula DRIFT PRO2 出場権:

2018 年シーズン結果シリーズポイント上位 16 人以外のドライバー。
2018 年度 PRO ライセンスを取得した FD ProAM ドライバー

2019 シーズン Formula DRIFT PRO2 ライセンス取得権:

Formula DRIFT ライセンスシリーズ/FD PRO-AM シリーズの上位ランク勢。
請願申請 (承認に基づく)

2019 シーズン Formula DRIFT PRO2 ライセンス所有権:

シーズン結果時点でシリーズポイントを最低 64 点保持している者。

*2018 年度シーズンに Rookie 登録を受けるドライバーは 2019 年度 PRO2 の登録権は保障される。

別表 B - Formula Drift PRO および Formula Drift PRO2 の概況報告書

FORMULA DRIFT Championship

2019 スポーティングレギュレーション

車両規定

Formula DRIFT PRO Championship テクニカルレギュレーションに基づく。

Formula DRIFT PRO Championship で使用されている車両を別のドライバーを起用して Formula DRIFT PRO2 Championship に参戦する事は禁止。

FORMULA DRIFT JAPAN 競技フォーマット

金曜日：車検／有料練習走行

土曜日：車検／練習 & 予選

日曜日：ベスト 32 決勝ラウンド